

学習課題(中学校2・3年生)



【美術】

<学習内容> 「伝統の美に学ぼう～君も着物デザイナー」

「和」は日本の文化を意味します。歴史の中で受け継がれてきた「和」のデザインを参考にしてオリジナルの和様柄を考え、自分らしい着物のデザインをしてみよう。

<取り組み方>

- ① 教科書 P67 「オリジナル和様柄をデザインしよう」を参考にしながら、ワークシートの(1)にアイデアを書き込もう。
- ② 教科書 P68 「伝統の美に学ぼう」の着物のデザインを参考にして、自分らしい着物のデザインを考え、ワークシートの(2)にデザインを描き、色鉛筆で色も付けてみよう。

<学習のヒント>

上の<取り組み方>で示した教科書のページの他に、以下のページも参考にしてみましよう。

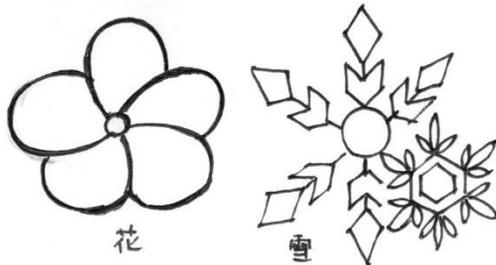
■P67 「江戸のデザインセンス・粋」

「青海波」や「うろこ」などの同じ絵柄を連続して並べた「割付文様(わりつけもんよう)」が載っています。下の【割付文様の例】も参考にしてみましょう。

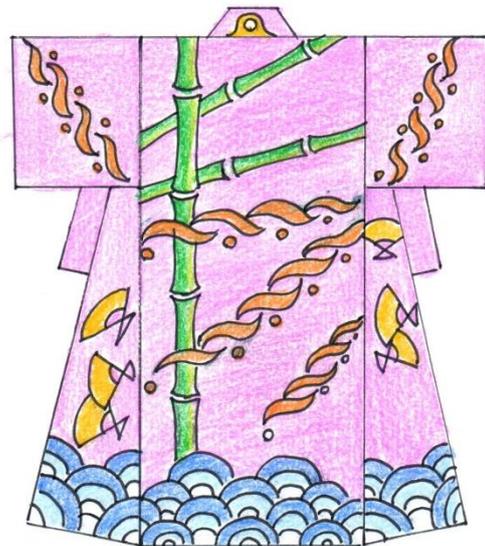
■P106、107 「色彩ホームページ」

四季や色彩豊かな自然に恵まれた日本ならではの様々な色や色の組合せ、江戸時代の着物などが紹介されています。

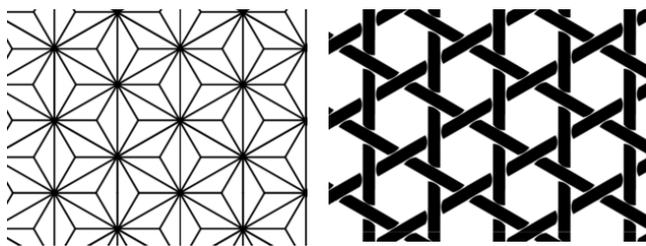
【自然や動植物からのデザイン例】



【オリジナル着物のデザイン例】



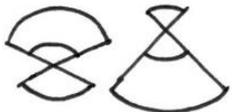
【割付文様の例】



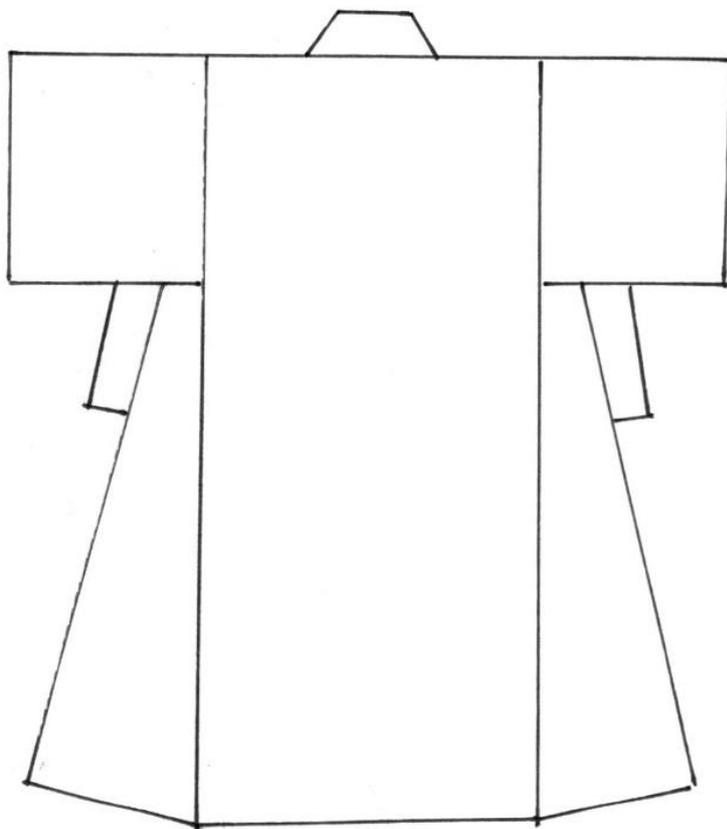
美術科・ワークシート 学習課題 (中学校2・3年生)

■「伝統の美に学ぼう～君も着物デザイナー」

(1) 日本や北海道、札幌の自然や動植物といえどんなものを思い浮かぶだろうか。<学習のヒント>に載せた例を参考にして、形を直線や曲線で単純にしたり、自分なりに変化させたりして、素敵なデザインを考えてみよう。

日本からイメージする形、自然や動植物	単純化してデザインした形
(例) ・ 扇子 (せんす) ・ 吹雪 ・ ・ ・	(例) →  → 

(2) <学習のヒント>を参考に、(1)で思い付いたデザインを使ってオリジナルの着物のデザインをしよう。



作品のテーマ
①表現した日本のイメージ ②形や配色のポイント

年	組	番	氏名
---	---	---	----